



RAPIDE X1-2P

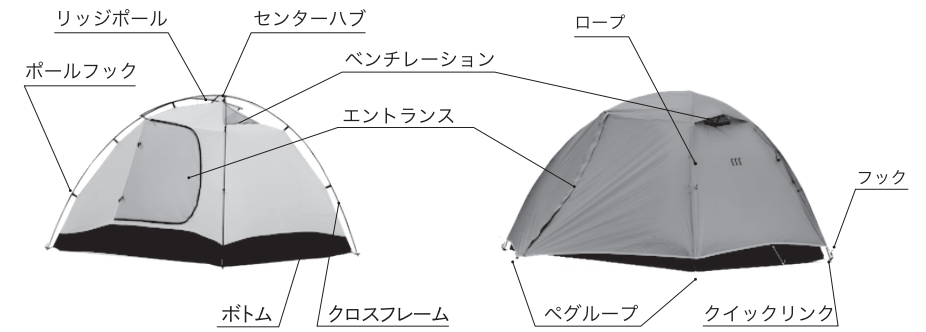
OUTDOOR GUILD MURACO.

USER GUIDE

## 各部名称

インナーテント

フライシート



## 製品仕様

### ●材質

フライシート : 15D リップストップナイロン / シリコン & PU コーティング

インナーテント : 15D リップストップナイロン / 20D ナイロンメッシュ

フレーム : muraco ZETA frame / A7075 T73 超々ジュラルミン

●サイズ : W225×D255×H115cm

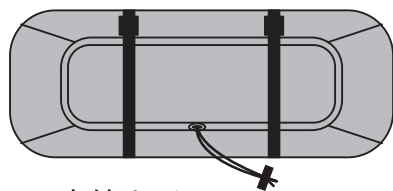
●収納サイズ : W49×D16×H19cm

●重さ : ファブリックインナーの場合 1850 g (最小重量 1630g)  
ハーフメッシュインナーの場合 1780g (最小重量 1560g)

●収容人数 : 2

●生産国 : ファブリック / 中国  
ポール / 日本

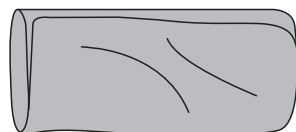
## セット内容



収納サック × 1



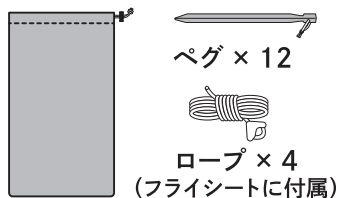
スタッフサック × 1



フライシート × 1



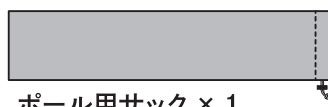
インナーテント × 1



ペグ用サック × 1

ペグ × 12

ロープ × 4  
(フライシートに付属)



ポール用サック × 1



リッジポール × 1



クロスフレーム × 1

## 専用オプション品(別売)

GROUND SHEET for RAPIDE X1-2P

インナーテントボトムを保護する、RAPIDE X1-2P 専用のグランドシート。

## 注意事項

### 初めてお使いになる前に

●品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りをを行い、付属品や設置道具を確認してください。

### 火気厳禁

●テントの生地は防災・難燃ではございません。火力のコントロールが難しい焚火などをされる際は、火の粉や熱の影響を受けない離れた場所にテントを設置してください。●テント内での燃焼器具のご使用は絶対におやめください。一酸化中毒の恐れがあり、大変危険です。●燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源のそばで組み立てたり、使用しないでください。熱源が転倒したり落下しても、延焼しない距離を保ってください。

### 天候状況

●旅行のスケジュールは常に天気予報を確認して行ってください。強風や大雨など、悪天候が予想される場合は無理をせず、スケジュールを変更してください。

### 設営 / 設営場所

●なるべく平坦で水はけの良い場所を選びましょう。設営前にできる限り石や木片などを除去し、テントボトムへのダメージに留意してください。また樹液が付着すると完全な除去は難しい為、木の真下などへの設営は避けてください。●ポールの損傷の原因はほとんどの場合、無理な設営に起因します。急いで無理に設営せずに、確認しながら設営してください。●本製品は常設用ではありません。長時間日光に晒された場合、退色や生地劣化、シームテープの剥がれなどを引き起こします。

### 結露について

●テント内の結露の原因は、主に「内外気温差と湿度上昇」に関係し、物理的に避けることができません。「内外気温差」の主な要因は人間の体温、地面の温度です。「湿度上昇」の主な要因は人間の呼吸、汗、地面の湿度です。これらの状況において発生した結露は、テント内の空気を外部へ逃すことによりある程度抑制できます。しかしながら、雨など湿度の極端に高い環境下でベンチレーションを解放すると、さらに結露が増える可能性があります。

### 撤収

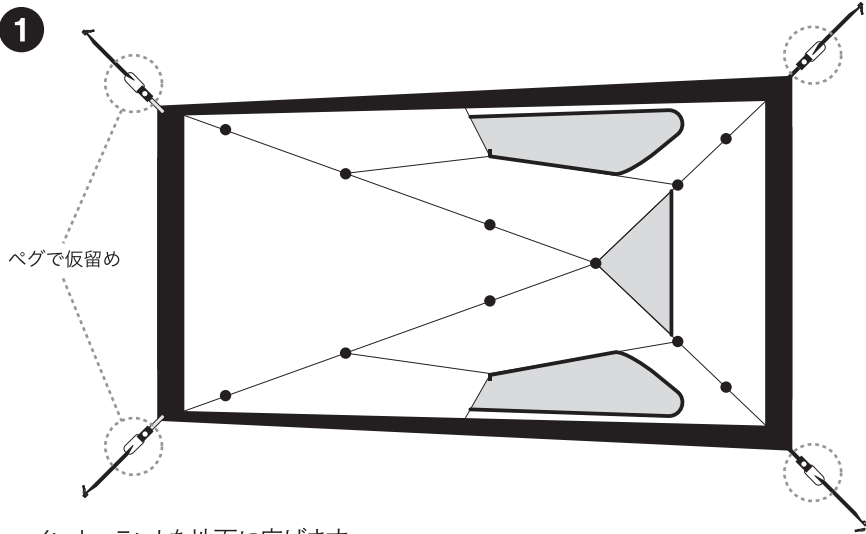
●撤収する際は、設営の手順を逆行してください。●十分に乾燥してから収納してください。

### メンテナンス

●テントは撥水・防水生地を使用していますが、経年劣化は避けられません。使用後のアフターケアは非常に重要です。以下のテントのケアの項目を良くご覧いただき、できる限り長くご愛用ください。●使用後は泥・ホコリを十分に落とし、陰干乾燥後、収納して下さい。汚れをそのまま放置すると、色移り、カビの発生に繋がります。また乾燥が不十分な場合、生地やコーティング性能を著しく劣化させる恐れがあります。またドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。●付属のスタッフサックは最高の収納方法ではありません。長期保管の際はやや大きめのコットン製の袋などに入れ、風通しの良い場所で保管して下さい。●地面と直接接するテントのボトムはダメージを受けやすくなります。専用設計されたグランドシートはボトムを綺麗に保ち、ダメージを抑制します。また、防水性能も格段に向上します。

設営手順

1



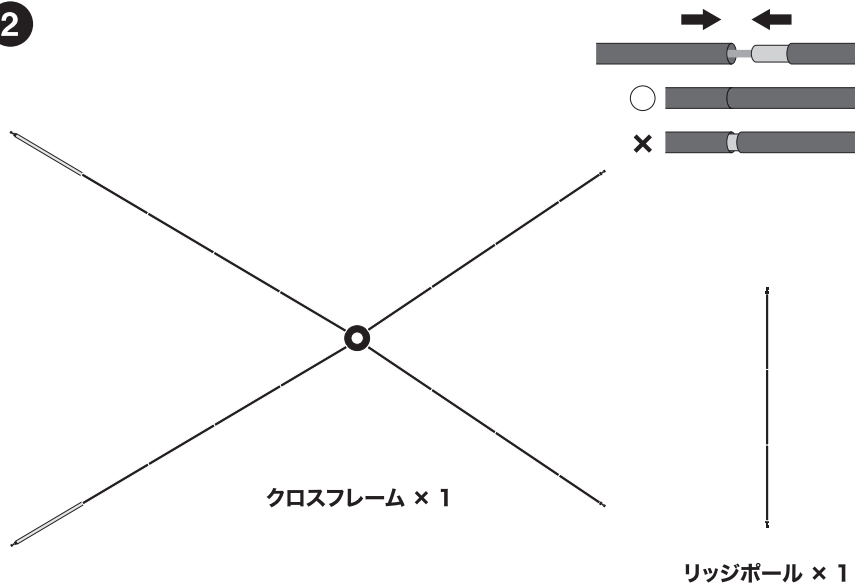
ペグで仮留め

- インナーテントを地面に広げます。

※強風時は飛ばされないようにペグで仮留めしてください。

※フロアの防水性向上や保護のために別売のグランドシート もご利用ください。

2



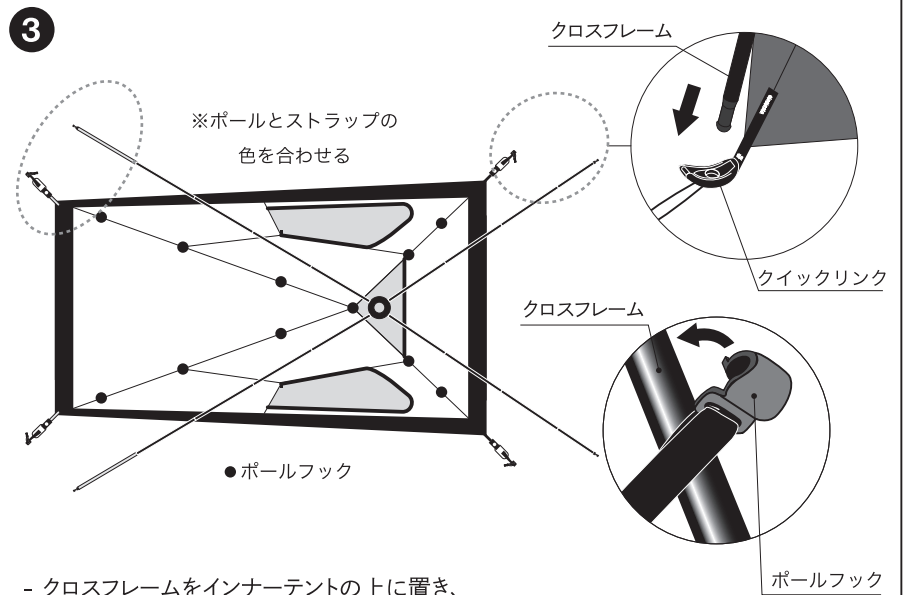
クロスフレーム × 1

リッジポール × 1

- クロスフレームとリッジポールを組み立てます。

設営手順

3



クロスフレーム

※ボールとストラップの色を合わせる

クイックリンク

クロスフレーム

● ボールフック

ボールフック

- クロスフレームをインナーテントの上に置き、4箇所のポール先端をクイックリンクに入れます。

4



リッジポール

ボール受け

- 頂上部にリッジポールを取り付けます。

5



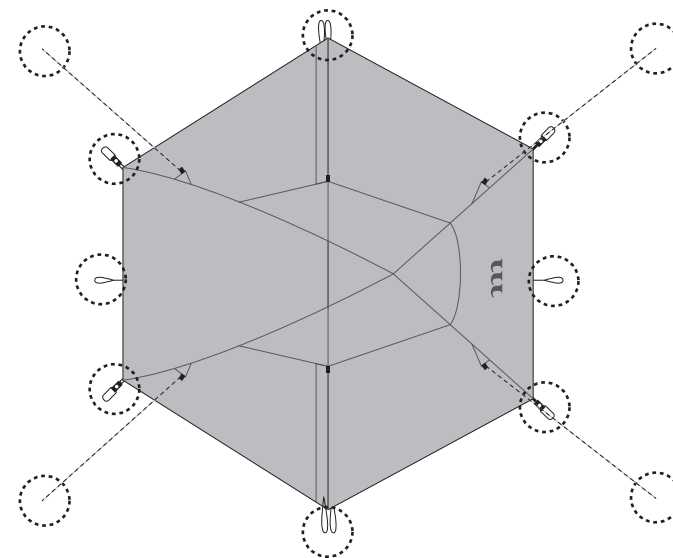
- フライシートをかぶせ、リッジポール先端をポール受けに引っ掛けます。
- フライシート裏側にある4箇所のストラップをクロスフレームに巻き留めます。

6



- フライシートの裾の4箇所のフックを、インナーテント底部のクイックリンクに引っ掛けます。
- フックのアジャスターストラップを引っ張り、フライシートの張り具合を調整します。

7



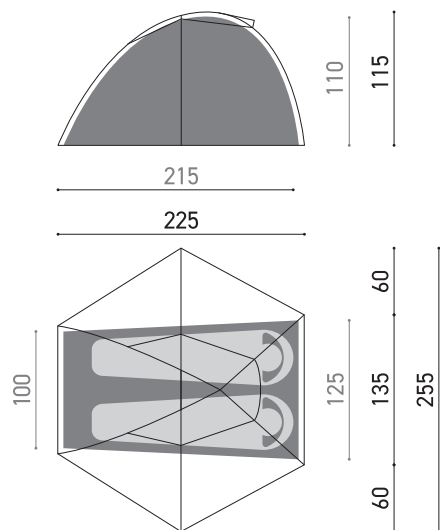
- テント8箇所、ロープ4箇所の計12箇所をペグダウンします。

8



- ベンチレーションを開き完成です。
- 撤収する際は、設営の手順を逆に行ってください。

INNER TENT



修理と保証

○ムラコでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。無償修理・または交換させていただきます。○製品不良以外の原因による故障については、有償にて対応させていただきます。なお、破損箇所・状況によっては修理できない場合もございますのであらかじめご了承ください。